

議案第34号

宇治市市税条例の一部を改正する条例を制定するについて

宇治市市税条例の一部を、次のとおり改正するものとする。

令和元年5月20日提出

宇治市長 山 本 正

宇治市条例第 号

宇治市市税条例の一部を改正する条例

宇治市市税条例（昭和51年宇治市条例第1号）の一部を次のように改正する。

第23条の2第1項前段中「においては」を「には」に、「同項第1号に掲げる寄附金」を「同条第2項に規定する特例控除対象寄附金」に改め、同条第2項中「第314条の7第2項」を「第314条の7第11項」に改める。

附則第5条の4中「第314条の7第2項第2号」を「第314条の7第11項第2号」に改める。

附則第7条の前の見出し中「寄附金控除額」を「寄附金税額控除」に改め、同条第1項中「よつて」を「より」に、「第314条の7第1項第1号に掲げる寄附金」を「第314条の7第2項に規定する特例控除対象寄附金」に、「「地方団体に対する寄附金」を「「特例控除対象寄附金」に、「、地方団体に対する寄附金」を「、特例控除対象寄附金」に、「地方団体の長」を「都道府県の知事又は市町村若しくは特別区の長（次項及び第3項において「都道府県知事等」という。）」に改め、同条第2項及び第3項中「地方団体の長」を「都道府県知事等」に改める。

附則第7条の2中「地方団体に対する寄附金」を「特例控除対象寄附金」に、「においては」を「には」に改める。

附 則

（施行期日）

第1条 この条例は、令和元年6月1日から施行する。

（市民税に関する経過措置）

第2条 改正後の宇治市市税条例（以下「新条例」という。）第23条の2並びに附則第5条の4及び第7条の2の規定は、令和2年度以後の年度分の個人の市民税について適用し、令和元年度分までの個人の市民税については、なお従前の例による。

2 新条例第23条の2第1項及び附則第7条の2の規定の適用に

については、令和2年度分の個人の市民税に限り、次の表の左欄に掲げる新条例の規定中同表の中欄に掲げる字句は、それぞれ同表の右欄に掲げる字句とする。

第23条 の2第1 項	特例控除対象 寄附金	特例控除対象寄附金又は同条第1項 第1号に掲げる寄附金（令和元年6 月1日前に支出したものに限る。）
附則第7 条の2	特例控除対象 寄附金	特例控除対象寄附金又は法第314 条の7第1項第1号に掲げる寄附金 （令和元年6月1日前に支出したも のに限る。）
	送付	送付又は宇治市市税条例の一部を改 正する条例（令和元年宇治市条例第 号）附則第2条第3項の規定 によりなお従前の例によることとさ れる改正前の宇治市市税条例附則第 7条第3項の規定による同条第1項 に規定する申告特例通知書の送付

- 3 新条例附則第7条第1項から第3項までの規定は、市民税の所得割の納税義務者がこの条例の施行の日以後に支出する地方税法等の一部を改正する法律（平成31年法律第2号。以下この項において「改正法」という。）第1条の規定による改正後の地方税法（昭和25年法律第226号）第314条の7第2項に規定する特例控除対象寄附金について適用し、市民税の所得割の納税義務者が同日前に支出した改正法第1条の規定による改正前の地方税法第314条の7第1項第1号に掲げる寄附金については、なお従前の例による。

(提案理由)

地方税法等の一部改正に伴い、所要の改正を行うものであります。